

わたしたちの地域シリーズ 第3回

つながる福祉のまち 豊平

ワーカーズ・コレクティブ ぽんこたん

代表：泉 久美子

設立の目的や想い

アイヌ語で「ほん」は「小さな」、「こたん」は「集落(コミュニティ)」。

気軽に足を運び、心のよりどころとなる居場所づくりをめざしています。多世代が交流し人々がゆるやかにつながる・安心できる食の提供を通して暮らしをサポートする・寄り添い・関わり合い・たすけあえる、そんな「小さなコミュニティ」になりたいです。

現在の事業内容

1階の「かふえぽんこたん」では食材にこだわり、旬の野菜を中心にした日替わりランチを提供しています。また、コロナ禍において、惣菜やお弁当のテイクアウト対応を強化しています。2階の「スペースぽんこたん」では独自のイベントと、サークルや活動会議などへの貸室事業を行っています。

実践している地域とのつながり(地域ニーズ)

- ・隣接する「デイこたけ」の昼食を毎日提供
- ・店舗から徒歩範囲にお弁当の配達
- ・イベントとして、毎週木曜日 10:00～北海道たすけあいワーカーズオリジナルのシンプル・エクササイズを開催
- ・生活クラブ生協豊平支部あみー企画と合同でリサイクル食器市を開催(9/26)。試食や総菜販売を行い、近所や支部の方々へのアピールにつながった



シェフがいないので、調理技術やメニューを含め、まだまだ改善・改良の余地があります。個性的なメンバー一人ひとりが試行錯誤しながら運営しています。



子育て支援ワーカーズ ベリーいべりい

代表：村上 哲子



設立の目的や想い

私たちが暮らしているまちは核家族も多く、地域の人々との関係もつくりづらと思われる環境のなか、不安や負担感、閉塞感を感じながら子育てをしている親も多いのではないかと思います。近年、子育て支援が様々な形で行われるようになってきましたが、私たち子育て支援ワーカーズ「ベリーいべりい」は、子どもたちを慈しみ、親に寄り添い、少しでも子育てしている人を応援できたらと思っています。

また、拠点を持つことにより「この地域で子育てできて良かった」と思えるような、場づくりをしたいと思っています。

現在の事業内容

お子さんを自宅で預かる個人保育、イベント等で預かる集団保育、親子ひろばの「べりいタイム」、子育てに悩んでいるお母さんのための訪問型子育て支援「菜の花」を行っています。

実践している地域とのつながり(地域ニーズ)

親子ひろばでの中学生の職業体験、地域の子育て支援者との研修会。わらべうたマッサージ、石けん出前講座、講師を迎えた料理教室や健康体操、べりいまつりなど好評でしたが、今年度はコロナ禍のため行えていません。そのかわりに、公園でシールラリーを行い喜ばれています。



今年は助成金で、産前・産後サポートを行っています。出産前のお母さんたちの不安に対する相談に応じ、一緒に考えていきたいと思っています。

NPO 法人 たすけあいワーカーズ こすもす

代表：平 美智子

設立の目的や想い

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには身近な“ちょっとした助け合い”が必要との思いで、やがて来る超高齢化社会、少子化の進行、女性の社会進出などを見据え、主体的に関わるワーカーズをつくりたいと思いました。2年の準備期間を経て、まずは自分たちの持っている生活技術や能力を活かして“地域でともに生きる”福祉をめざし、1997年3月に20名でスタートしました。

現在の事業内容

- ・たすけあい事業
- ・介護保険事業
- ・札幌市訪問型独自サービス事業
- ・障がい福祉サービス事業(居宅・重度訪問・同行援護)
- ・札幌市移動支援事業



自立支援を基本に活動を始めると、様々な助けを必要とする人がたくさんいることを実感しています。現在、担い手募集中です。定年や解雇の心配が無く、子育て中でも、介護をしながらでも働き続けることができるワーカーズに、多くの方が参加して欲しいと思います。いつでもお問い合わせください。

実践している地域とのつながり(地域ニーズ)

豊平区内の障がい福祉事業に関わる事業所、当事者団体、社協、福祉課で構成されている札幌市自立支援協議会豊平地区部会で活動。学習会や年1回のとよひらフェスティバル(今年度はコロナ禍のため中止)に参加しています。

2017年10月から年4回開催してきた、こすもすサロン「歌声喫茶」では60～90代の地域の方と共に、キーボードの演奏で懐かしい歌を歌いました(今年度はコロナ禍のため休止)。講師による歌にまつわるお話も楽しく、思い出を語り合うことで皆さん生き生きとした表情になります。

